

修士課程

1. 履修上の注意

社会学研究科では、2025 年度より、修士課程においてコース制を廃止し一本化しました。これに伴い、2025 年度以降入学者と 2024 年度以前入学者では修了要件が異なりますので、ご注意ください。

【2025 年度以降入学者】新カリキュラム

(1) 修了所要単位

修得単位数の合計が修了所要単位数を満たしていても、各履修区分の所要単位数を満たしていない場合には修了できませんので、下記をよく確認の上、履修登録を行ってください。

履修区分	科目群	履修上の指示	修了所要単位	
必修科目	演習系科目群	「基礎演習 1、2」を 1 年次に履修 「基礎演習 3」を 2 年次に履修	6 単位以上	計 30 単位 以上
	論文指導	「修士論文指導 I A、I B」を 1 年次に履修 「修士論文指導 II A、II B」を 2 年次に履修	4 単位以上	
選択必修科目	方法系科目群	「統計分析法」「社会調査実習」「調査研究法」 「質的資料分析法」「メディア研究実習 1～5」 より 2 単位以上履修	2 単位以上	
選択科目	理論系科目群 個別研究系科目群 学際系科目群 社会科学研究法 外国語講読系科目群	—	—	
他研究科科目	他研究科科目	選択科目としてカウントする。 但し、10 単位を上限とする。	—	

(2) 留意点

• 演習系科目群

「基礎演習 1～3」については、修士課程の学生を対象とした科目のため、特別学生（研修生を含む）は履修登録できません。聴講を希望する場合には、科目担当教員の承認を得てください。

• 論文指導

1 年次に「修士論文指導 I A、II B」を、2 年次に「修士論文指導 II A、II B」を履修してください。

• 学部合同科目

学部合同科目は、6 単位まで修了所要単位に含めることができます。ただし、本学社会学部で「社会学史 I」の単位を修得済の場合、「理論社会学基礎 1」を、「社会学史 II」の単位を修得済の場合、「理論社会学基礎 2」を履修することはできません。

• 専門社会調査士資格について

社会学研究科では、「一般社団法人 社会調査協会 (<http://jasr.or.jp/>)」が認定する「専門社会調査士」資格（修士修了を条件とする資格）の取得が可能なカリキュラムを用意しています。社会学研究科修士課程の資格対応科目は、「調査研究法」「統計分析法」「質的資料分析法」の 3 科目が対象です。細かい履修計画の立て方などは、大学院連絡責任者（堀川三郎教授 sab@hosei.ac.jp）まで直接問い合わせること。

• 研究科共通科目「日本語論文作成 A I」「日本語論文作成 B I」の履修について

留学生を対象とした日本語論文作成のための研究科共通科目「日本語論文作成 A I」「日本語論文作成 B I」を開講します。研修生も履修登録できます。受講希望者は「研究科共通 日本語科目」の項を参照してください（212 ページ）。

なお、研究科共通科目「日本語論文作成 A I」「日本語論文作成 B I」の単位は、修了要件に含まれません。

(3) 入学時に長期履修制度を申請された方へ

入学時に長期履修申請をされた方で、何らかの理由により履修計画を短くして修了を希望される場合は、修士論文予備登録時に「長期履修計画変更申請書」を提出してください。その書類をもとに経理課より学費差額分追加徴収の納付書が送付されますので、届き次第速やかに振込んでください。

なお、申請書提出後は再度長期履修制度に戻ることはできません。履修計画の変更についてはよく検討の上、決定するようにしてください。

【2024 年度以前入学者】旧カリキュラム

(1) 修了所要単位

コースにより、修了所要単位の内訳が異なります。修得単位数の合計が修了所要単位数を満たしていても、各履修区分の所要単位数を満たしていない場合には修了できませんので、下記をよく確認の上、履修登録を行ってください。

コース名	履修区分	科目群	履修上の指示	修了所要単位	
社会学コース	必修科目	演習系科目群	「社会学基礎演習 1、2」を 1 年次に履修 「社会学基礎演習 3」を 2 年次に履修	6 単位以上	計 30 単位以上
		論文指導	「修士論文指導 I A、I B」を 1 年次に履修 「修士論文指導 II A、II B」を 2 年次に履修	4 単位以上	
	選択必修科目	理論系科目群	「理論社会学 1～5」「理論社会学基礎 1、2」より 4 単位以上履修	4 単位以上	
		個別研究系科目群	「社会学特殊研究 1～6」より 4 単位以上履修	4 単位以上	
	選択科目	方法系科目群 学際系科目群 社会科学研究法 外国書講読系科目群	—	—	
	他コース・他研究科科目	メディアコース科目 他研究科科目	選択科目としてカウントする。 但し、他研究科科目は 10 単位を上限とする。	—	

コース名	履修区分	科目群	履修上の指示	修了所要単位	
メディアコース	必修科目	演習系科目群	「メディア社会学基礎演習 1、2」を 1 年次に履修 「メディア社会学基礎演習 3」を 2 年次に履修	6 単位以上	計 30 単位以上
		論文指導	「修士論文指導 I A、I B」を 1 年次に履修 「修士論文指導 II A、II B」を 2 年次に履修	4 単位以上	
	選択必修科目	理論系科目群	「メディア理論 1～5」より 4 単位以上履修	4 単位以上	
		個別研究系科目群	「メディア特殊研究 1～4」または「メディア社会学特殊研究 1～2」より 4 単位以上履修	4 単位以上	
	選択科目	方法系科目群 学際系科目群 社会科学研究法 外国書講読系科目群	—	—	
	他コース・他研究科科目	社会学コース科目 他研究科科目	選択科目としてカウントする。 但し、他研究科科目は 10 単位を上限とする。	—	

(2) 留意点

• 演習系科目群

「社会学基礎演習 1～3」および「メディア社会学基礎演習 1～3」については、修士課程の学生を対象とした科目のため、特別学生（研修生を含む）は履修登録できません。聴講を希望する場合には、科目担当教員の承認を得てください。

• 論文指導

2023 年度よりセメスター化し、科目名が変更になりました。

2022 年度以前の入学者は、1 年次に「論文指導 1」の代わりに「修士論文指導Ⅰ A、Ⅱ B」を、2 年次に「論文指導 2」の代わりに「修士論文指導Ⅱ A、Ⅱ B」を履修してください。

• 学部合同科目

学部合同科目は、6 単位まで修了所要単位に含めることができます。ただし、本学社会学部で「社会学史Ⅰ」の単位を修得済の場合、「理論社会学基礎 1」を、「社会学史Ⅱ」の単位を修得済の場合、「理論社会学基礎 2」を履修することはできません。

• 専門社会調査士資格について

社会学研究科では、「一般社団法人 社会調査協会 (<http://jasr.or.jp/>)」が認定する「専門社会調査士」資格（修士修了を条件とする資格）の取得が可能なカリキュラムを用意しています。社会学研究科修士課程の資格対応科目は、「調査研究法」「統計分析法」「質的資料分析法」の 3 科目が対象です。細かい履修計画の立て方などは、大学院連絡責任者（堀川三郎教授 sab@hosei.ac.jp）まで直接問い合わせること。

• 研究科共通科目「日本語論文作成 AⅠ」「日本語論文作成 BⅠ」の履修について

留学生を対象とした日本語論文作成のための研究科共通科目「日本語論文作成 AⅠ」「日本語論文作成 BⅠ」を開講します。研修生も履修登録できます。受講希望者は「研究科共通 日本語科目」の項を参照してください（212 ページ）。

なお、研究科共通科目「日本語論文作成 AⅠ」「日本語論文作成 BⅠ」の単位は、修了要件に含まれません。

(3) 入学時に長期履修制度を申請された方へ

入学時に長期履修申請をされた方で、何らかの理由により履修計画を短くして修了を希望される場合は、修士論文予備登録時に「長期履修計画変更申請書」を提出してください。その書類をもとに経理課より学費差額分追加徴収の納付書が送付されますので、届き次第速やかに振込んでください。

なお、申請書提出後は再度長期履修制度に戻ることはできません。履修計画の変更についてはよく検討の上、決定するようにしてください。

2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに単位を修得した後も続けて履修できる科目

【重複】：同じ年度に同じ名称の科目を複数履修できる科目

【他専攻】：他専攻の学生が履修できる科目

科目区分	授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
科目群系	基礎演習 1	土橋 臣吾	2				旧カリ社会学コース科目「社会学基礎演習 1」・旧カリメディアコース科目「メディア社会学基礎演習 1」と合同
	基礎演習 2	鈴木 智之	2				旧カリ社会学コース科目「社会学基礎演習 2」・旧カリメディアコース科目「メディア社会学基礎演習 2」と合同
	基礎演習 3	藤田 真文	2				旧カリ社会学コース科目「社会学基礎演習 3」・旧カリメディアコース科目「メディア社会学基礎演習 3」と合同
方法系科目群	統計分析法	胡中 孟徳	2			○	博士後期課程「社会調査法 2」と合同・旧カリ社会学コース科目
	調査研究法	恵羅 さとみ	2			○	博士後期課程「社会調査法 1」と合同・旧カリ社会学コース科目
	質的資料分析法	堀川 三郎	2			○	博士後期課程「社会調査法 3」と合同・旧カリ社会学コース科目
	メディア研究実習 1	山口 仁	2			○	2022 年度「調査報道実習 1」を修得済みの場合は連続・重複履修不可・旧カリメディアコース科目
	メディア研究実習 2	水野 剛也	2			○	2022 年度「調査報道実習 2」を修得済みの場合は連続・重複履修不可・旧カリメディアコース科目
	メディア研究実習 3	橋爪 絢子	2			○	2022 年度「取材文章実習」を修得済みの場合は連続・重複履修不可・旧カリメディアコース科目
理論系科目群	理論社会学 1	岡野内 正	2	○	○	○	旧カリ社会学コース科目
	理論社会学 2	鈴木 宗徳	2	○	○	○	旧カリ社会学コース科目
	メディア理論 1	別府 三奈子	2	○	○	○	旧カリメディアコース科目
	メディア理論 2	小林 直毅	2	○	○	○	旧カリメディアコース科目
	理論社会学基礎 1	徳安 彰	2			○	学部「社会学史Ⅰ」と合同・旧カリ社会学コース科目
	理論社会学基礎 2	徳安 彰	2			○	学部「社会学史Ⅱ」と合同・旧カリ社会学コース科目
個別研究系科目群	社会学特殊研究 1	三井 さよ	2	○	○	○	旧カリ社会学コース科目
	社会学特殊研究 2	佐幸 信介	2	○	○	○	旧カリ社会学コース科目
	社会学特殊研究 5	鷹田 佳典	2	○	○	○	博士後期課程「社会学研究 2」と合同・旧カリ社会学コース科目
	社会学特殊研究 6	坂上 香	2	○	○	○	博士後期課程「社会学研究 3」と合同・旧カリ社会学コース科目
	メディア特殊研究 1	白田 秀彰	2	○	○	○	旧カリ社会学コース科目
	メディア特殊研究 2	青木 貞茂	2	○	○	○	旧カリ社会学コース科目

科目 区分	授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
科学 目 際 群 系	学際研究 1	平塚 眞樹	2	○	○	○	
	学際研究 2	宇野 斉	2	○	○	○	
社会科学 法 学 会	社会科学研究法 1	大崎 雄二	2			○	
	外国書講読 1	堀川 三郎	2	○	○	○	学部「外書講読（社会学）2A」と合同
	外国書講読 2	武田 俊輔	2	○	○	○	学部「外書講読（社会学）2B」と合同
	外国書講読 1	鈴木 宗徳	2	○	○	○	学部「外書講読（メディア社会学）1A」と合同
	外国書講読 2	鈴木 宗徳	2	○	○	○	学部「外書講読（メディア社会学）1B」と合同
	外国書講読 1	高橋 愛	2	○	○	○	学部「フランス語 3A（講読）・上級 B1」と合同
	外国書講読 2	高橋 愛	2	○	○	○	学部「フランス語 4A（講読）・上級 B4」と合同
	外国書講読 1	濱中 春	2	○	○	○	学部「ドイツ語 3A（講読）・上級 B1」と合同
	外国書講読 2	濱中 春	2	○	○	○	学部「ドイツ語 4A（講読）・上級 B4」と合同
	外国書講読 1	大崎 雄二	2	○	○	○	学部「中国語 3A（講読）・上級 B1」と合同
	外国書講読 2	大崎 雄二	2	○	○	○	学部「中国語 4A（講読）・上級 B4」と合同
	社会学原典講読	二村 まどか	2	○	○	○	博士後期課程「社会学原典研究 1」と合同
	社会学原典講読	二村 まどか	2	○	○	○	博士後期課程「社会学原典研究 1」と合同
論文 指導	修士論文指導 I A	社会学専攻教員	1				修士 1 年次に必ず履修
	修士論文指導 I B	社会学専攻教員	1				修士 1 年次に必ず履修
	修士論文指導 II A	社会学専攻教員	1	○			修士 2 年次に必ず履修
	修士論文指導 II B	社会学専攻教員	1	○			修士 2 年次に必ず履修

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2025 年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 履修上の注意

(1) 修了所要単位

履修区分	修了所要単位
論文指導科目	12 単位以上修得
総合演習科目	6 単位以上修得
選択必修科目	2 単位以上修得
博 士 論 文	
合 計	20 単位以上修得

※課程修了には、単位の修得のほか博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

履修区分	科目名	単位	履修上の指示	修了所要単位	
論文指導科目	博士論文指導Ⅰ A	2	1 年次に履修	12 単位以上（修了所要単位に含めることができるのは 12 単位まで）	計 20 単位以上
	博士論文指導Ⅰ B	2			
	博士論文指導Ⅱ A	2	2 年次に履修		
	博士論文指導Ⅱ B	2			
	博士論文指導Ⅲ A	2	3 年次に履修		
	博士論文指導Ⅲ B	2			
総合演習科目	社会学総合演習 A	2	重複履修可	6 単位以上	
	社会学総合演習 B	2			
選択必修科目	社会学研究 1	2	重複履修可	2 単位以上	
	社会学研究 2	2			
	社会学研究 3	2			
	社会調査法 1	2	履修制限あり 下記（5）を参照のこと		
	社会調査法 2	2			
	社会調査法 3	2			
	社会学原典研究 1	2	重複履修可		
	社会学原典研究 2	2			

(3) 論文指導科目の履修について

論文指導科目は、12 単位を超えて修得した単位は修了所要単位に含めることができません。

(4) 総合演習科目の履修について

総合演習科目は、各学期末に集中演習形式で開催されます。履修希望者は、他の授業と同様、年度初めに Web 履修登録を行ってください。そのうえで、事前に設定されたメ切り日までに、演習担当教員に課題を提出することが、演習での報告の要件となります。

「社会学総合演習 B」は、原則として毎年履修してください。

なお、総合演習科目の成績は、P（合格）または F（不合格）で評価します。

(5) 選択必修科目の履修について

社会調査法 1～3 については、本大学院修士課程在籍時に以下のとおり単位を修得している場合、再度の履修はできません。

社会調査法 1：社会学専攻修士課程の「調査研究法」または公共政策学専攻・サステナビリティ学専攻修士課程の「社会調査法 6」の単位を修得済みの場合

社会調査法 2：社会学専攻修士課程の「統計分析法」の単位を修得済みの場合

社会調査法 3：社会学専攻修士課程の「質的資料分析法」または公共政策学専攻・サステナビリティ学専攻修士課程の「社会調査法 8」の単位を修得済みの場合

(6) 修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

(7) 専門社会調査士について

社会学研究科では、「一般社団法人 社会調査協会 (<http://jasr.or.jp/>)」が認定する「専門社会調査士」資格（修士修了を条件とする資格）の取得が可能なカリキュラムを用意しています。社会学研究科博士後期課程の資格対応科目は、「社会調査法 1」「社会調査法 2」「社会調査法 3」です。細かい履修計画の立て方などは、担当教員（堀川 三郎先生 sab@hosei.ac.jp）まで直接問い合わせること。

2. 授業科目担当者一覧

科目区分	授業科目	担当教員名	単位	備考
論文指導科目	博士論文指導Ⅰ A	社会学専攻教員	2	博士後期課程 1 年次に必ず履修
	博士論文指導Ⅰ B	社会学専攻教員	2	博士後期課程 1 年次に必ず履修
	博士論文指導Ⅱ A	社会学専攻教員	2	博士後期課程 2 年次に必ず履修
	博士論文指導Ⅱ B	社会学専攻教員	2	博士後期課程 2 年次に必ず履修
	博士論文指導Ⅲ A	社会学専攻教員	2	博士後期課程 3 年次に必ず履修
	博士論文指導Ⅲ B	社会学専攻教員	2	博士後期課程 3 年次に必ず履修
習科目 総合演	社会学総合演習 A	社会学専攻教員	2	
	社会学総合演習 B	社会学専攻教員	2	
選択必修科目	社会学研究 1	ジョージ・ハン	2	
	社会学研究 2	鷹田 佳典	2	修士課程「社会学特殊研究 5」と合同
	社会学研究 3	坂上 香	2	修士課程「社会学特殊研究 6」と合同
	社会調査法 1	恵羅 さとみ	2	修士課程「調査研究法」と合同
	社会調査法 2	胡中 孟徳	2	修士課程「統計分析法」と合同
	社会調査法 3	堀川 三郎	2	修士課程「質的資料分析法」と合同
	社会学原典研究 1	二村 まどか	2	修士課程「社会学原典講読」と合同

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2025 年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL：<https://syllabus.hosei.ac.jp/>